

科目名	清沢満之論					単位	2.0
担当教員	伊東 恵深						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	3217

●授業のテーマ

清沢満之—その生涯と思想—

●到達目標

清沢満之（きよざわまんし, 1863-1903）の生涯とその思想に学び、基本的な「清沢満之」観を養う。

●学習内容(授業概要)

明治という激動の時代を生き、親鸞が明らかにした「現生正定聚」の教えを「精神主義」として提唱した、仏教者・清沢満之。その生涯と思想を尋ねることを通して、清沢満之が目指した「信念の確立」の内実について学んでいく。

具体的には、満之自身が名のつた五つの号（建峯・骸骨・石水・臘扇・浜風）によりながらその生涯を区分し、それぞれの時期にどのような問題や課題を抱えていたのかを尋ねていきたい。清沢満之という「ひと」に、はじめて触れるであろう受講生の皆さんのために、ゆっくりと確実に授業を進めていきたいと考えている。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 講義のガイダンス
2. 概説—清沢満之の生涯と思想—
3. 建峯①—誕生から東京大学時代まで—
4. 建峯②—宗教哲学の学び—
5. 骸骨①—京都・宗門へ—
6. 骸骨②—『宗教哲学骸骨』—
7. 石水①—播州・垂水での療養生活—
8. 石水②—自力から他力へ：二つの論稿—
9. 石水③—宗門の改革—
10. 臘扇①—ふたたび東京へ—
11. 臘扇②—精神主義と浩々洞—
12. 臘扇③—真宗大学開校—
13. 浜風①—三河・大浜へ—
14. 浜風②—絶筆「わが信念」—
15. 全体の総括（まとめとテスト）

●準備学習・事後学習の内容

「準備学習」…特に指示しない限り準備学習は必要ないが、不明な点があれば事前に調べてくること。

「事後学習」…授業で学んだ内容を復習して、そこから自分なりの課題や問題を見つけ出すこと。

●成績評価方法・基準

- ①平常点（出席・受講態度など）40%、②感想文（授業時に数回）20%、③期末試験（筆記またはレポート）

40%

●テキスト（必携）

特になし。必要に応じて、プリントなどを配布する。

●参考文献／その他

『清沢満之 生涯と思想』（教学研究所編、東本願寺出版部、1200円）

※清沢満之の生涯と思想をより深く知るためにも、できれば購読・持参してほしいが、強要はしない。  
その他の参考図書については、授業中に随時紹介する。

●履修上の注意

受講生との応答を大切にしながら、授業を進めていきたい。授業への積極的な参加を望む。私語、携帯電話等の使用は厳禁。